

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 新 スマート農業産地モデル実証事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2809)

E-mail： c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 60,239千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	60,239	0	0	0	0	0	60,239	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農業経営体の減少や労働力不足など、県農業の抱える課題解決に向けて、スマート農業の活用に期待が高まっている中、導入・普及を進めるため、農業者の理解促進や品目に合った技術の確立が必要となっている。

また、スマート農業技術導入等により、産地が一体となって、持続性の高い生産基盤を構築する必要がある。

(2) 事業内容

○「スマート農業産地モデル」の設置 (60,239千円)

- ・露地野菜産地等において、スマート農業技術の導入による各種作業の効率化やコスト低減、販売の強化等の効果を最大限に発揮する持続可能な「スマート農業産地モデル」を整備し、スマート農業技術導入効果を実証する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	84	実証検討会有識者謝金
旅費	608	実証検討会会議旅費
業務委託料	59,419	スマート農業産地の設置
使用料	128	会議室使用料
合計	60,239	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）
Ⅱ－3－（3）－② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ぎふ農業・農村基本計画（2021～2025年度）
第6章 将来像達成に向けた取組み
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）
重点施策（2）技術の実証

(2) 後年度の財政負担

- ・2年間（予定）の実証試験であり、次年度以降も継続する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 スマート農業技術の導入・普及を産地全体で進めることで、導入コスト低減を図るとともに単収の向上や高品質生産及び付加価値向上等を図り、生産性や収益性の高い産地づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
スマート農業技術導入経営体数	168	345	370	455	550	63%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>最新のスマート農業技術の普及を図るため、導入コスト削減を目的としたシェアリングなど産地におけるスマート農業技術の一貫体系の中で実証を行い、省力効果や収益性等を明らかにする必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 スマート農業技術の導入・普及を促進するためには、スマート農業技術による省力化、高品質化等の定量的効果分析や、効率的なシェアリング方法の検討等による、経営効果を明確にする必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 省力化や、高品質生産などスマート農業が大きな役割を担っていることから、今後も継続して実証に取り組み、実証成果に基づいたスマート農業技術の導入・普及を図っていく必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	